日本情報漏えい年鑑 2013

2012/01/01 ～ 12/31

株式会社イード

はじめに

情報セキュリティ専門メディアであるScanNetSecurityはこれまで、情報漏えいやWeb改ざん等の、インターネットで発生したさまざまなセキュリティ・インシデントを編纂した資料「ネットワーク・セキュリティ・インシデント年鑑」を2002年から刊行してまいりました。

本レポートは、2005年から「個人情報の保護に関する法律」が施行された状況をふまえ、2012年に国内で発生した多様なセキュリティ・インシデントのうち、個人情報漏えいに関わるインシデントのみを収録しました。本資料によって、国内で発生した主な個人情報漏えい事故を総覧し、企業や組織が「過去にどのような事件を起こしたか」「そのときどのような対応をしたか」を確認するケーススタディとしてご利用いただけます。

企業と組織の情報セキュリティの推進のために、セキュリティ対策実施と運用の現場でご活用いただけることを願ってやみません。

2013年 4月

株式会社イード

ScanNetSecurity 発行人　高橋潤哉

目次

凡例

本書の内容について

本年鑑は、株式会社イードが、情報セキュリティに関わる最新情報やニュースを配信するオンラインメディア ScanNetSecurity に掲載されたニュース記事から、企業や官公庁等による個人情報漏えいインシデントだけを選び収録した。掲載されたインシデントは、2012 年 1 月 1 日から 2012 年 12 月 31 日までの 1 箇年間とした。なお、本年鑑に掲載された情報漏えいインシデントは、編集方針に基づいて ScanNetSecurity に掲載された記事のみを対象としており、2012 年に発生し報告された日本国内のすべての事件及び事故を網羅するものではない。

情報漏えいインシデントの分類・整理方法について

【ID番号】
●【タイトル】

掲載日	【掲載日】
発表日	【発表日】
名称	【名称】
属性	【属性】
漏えい人数	【漏えい人数】
原因	【原因】
	【内部・外部】

【本文】

・【関連URL】
http://

【ID 番号】

ScanNetSecurity 掲載日の昇順による ID で、2012 年 1 月～2012 年 12 月の 1 箇年間連番、A001 から順に付与される

なお海外のインシデントについては、ScanNetSecurity 掲載日の昇順による ID で、2012 年 1 月～2012 年 12 月の 1 箇年間連番、B001 から順に付与される

【タイトル】

ScanNetSecurity 掲載時ニュース記事タイトル

【掲載日】

ScanNetSecurity 掲載年月日

【発表日】

企業等がリリースによってインシデントの発生を公表した年月日あるいはメディア等で公知となった年月日

※インシデントの発生日が公表されている場合「内容」の項目に記載される

【名称】

漏えいした個人情報を保有していた企業名、官公庁名、もしくはその他組織・団体名

【属性】

漏えいした個人情報を保有していた組織・団体は下記 3 カテゴリである

-民間企業

-官公庁

-その他団体（財団法人、NPO、公立ではない大学・病院等）

【漏えい人数】

公開資料記載の、漏えいした個人情報の人数

【原因】

−不正持ち出し

組織内の規定に反し個人情報を事業所等から持ち出したことが原因の場合（自宅に持ち帰り、個人用の PC にデータを保存し当該 PC が Winny ウイルス等に感染し漏えいした場合、その他本来の利用目的外に個人情報を利用した場合も含む）

−紛失

個人情報の状態（記憶媒体、紙媒体等）を問わず企業等の個人情報が、内外を問わず紛失した場合

−盗難

車上荒らしや事務所荒らし等によって、個人情報を記録、保存した PC や鞄等を盗難された場合

−誤送信ほか操作ミス

個人情報を含むファイルを誤った宛先にメールや FAX で送信したり、本来 BCC にする複数の宛先を CC で誰にでも閲覧できる状態でメール送信する等の誤送信や操作ミス

−不正アクセス

不正侵入のほか、他人のログイン情報悪用等、「不正アクセス行為の禁止等に関する法律」により定義される不正アクセス行為全般

−システム管理上のミス

Web サイトやサーバの設定不備によって第三者が個人情報にアクセスできる状態となっていた場合や、消去すべきデータを消去し忘れた場合、アクセス制限の設定ミス等、第三者が一般的な操作で個人情報を閲覧できる状態にあった場合

−その他

内部犯罪や、社内規定不在により社内 PC に Winny 等をインストールしたことが原因で漏えいが発生した場合、データを消去せずにハードディスクを廃棄した場合等々、上記の項目に該当しない場合

−不明

漏えいの原因や経路等が不明あるいは公表されていない場合や、紛失か盗難かが明確ではない場合等

【内部・外部】

−内部から：内部からの攻撃あるいは原因による情報漏えい

−外部から：外部からの攻撃あるいは原因による情報漏えい

-不明：原因不明なもの

【内容】

SCAN 掲載ニュース記事本文

【関連 URL】

情報漏えいを公表する組織・団体のリリースが掲載された当時の URL で、意図して消されすでに当該ページが存在しない場合もある。リリースがトップページに掲載された場合等はトップページの URL を記載した。

情報漏洩データ 2012 年

2012 年 1 月～2012 年 12 月

2012 年 1 月

NO.A001

●宇宙ステーション関連情報漏えいの可能性（JAXA）

掲載日	2012/1/17
発表日	2012/1/13
名称	宇宙航空研究開発機構
属性	官公庁
漏えい人数	不明
原因	その他
	外部から

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は 1 月 13 日、同機構の端末がウイルス感染し、当該端末内の情報と同端末を利用する職員がアクセス可能なシステムに関する情報が外部に漏えいしていたことが 1 月 6 日に判明したと発表した。

同機構によれば、漏えいした可能性のある情報は、感染端末に保存されていたメールアドレスやログイン情報の他、宇宙ステーションへの物資補給機（HTV）に関連する情報など。

発表された経緯によれば、2011 年 8 月 11 日に当該端末で異常を検出し直ちにネットワークから切り離し調査したところ、8 月 17 日に当該端末がウイルスに感染していることが判明し、ウイルスを駆除しても異常が継続したため、当該端末を引き続き調査したところ、別の新種のウイルスによる情報収集がなされていた痕跡、および 2011 年 7 月 6 日から 8 月 11 日の間、何らかの情報を外部に対して送信していたことが本年 1 月 6 日に判明したという。

・関連 URL
http://www.jaxa.jp/press/2012/01/20120113_security_j.html

2012 年 2 月

NO.A002

●「OCN マイページ」約 3 ヶ月、別ユーザのメールパスワードが変更可能に（NTT Com）

掲載日	2012/2/14
発表日	2012/2/10
名称	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
属性	民間企業
漏えい人数	236
原因	システム管理上のミス
	内部から

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社（NTT Com）は 2 月 10 日、同社が提供する OCN など各種サービスのユーザ専用サイト「OCN マイページ」においてシステムの不具合が 2011 年 10 月 17 日から 2012 年 2 月 3 日まで発生し、ユーザの OCN メールパスワードが別のユーザによって変更可能な状態となっていたことが判明したと発表した。これは、同ページでユーザが別のユーザのメールアドレスを誤って入力した場合、別ユーザの OCN メールパスワードが変更されてしまうというもの。

これにより、別ユーザが自身のメールを利用できなくなるとともに、誤ってアドレスを入力したユーザにメールの内容を閲覧されてしまう可能性があった。実際にメールパスワードの変更が確認されたのは 236 件。同社では、同ページのシステム不具合により、メールパスワード再設定申請時のメールアドレスと申請確認時のメールアドレスとの整合性チェックが実施されていなかったためとしている。

・関連 URL
http://www.ntt.com/release/monthNEWS/detail/20120210.html

NO.A003

●「ベビカム」に不正アクセス、17 万件以上の会員情報が漏えい（デジタルブティック）

掲載日	2012/2/14
発表日	2012/2/9
名称	株式会社デジタルブティック
属性	民間企業
漏えい人数	171,518 件
原因	不正アクセス
	外部から

株式会社デジタルブティックは 2 月 9 日、同社が運営する妊娠、出産、育児支援サイト「ベビカム」において、外部からの不正アクセスにより会員情報の一部が参照可能な状態にあったことが判明したと発表した。同社では直ちに原因究明と対応に着手し、すでに外部からの同様のアクセスを遮断する対策は完了しているという。

本事象は 2 月 7 日 19 時頃に発生を確認したもので、2 月 3 日より断続的に海外（中国）から同サイトの脆弱性を狙った攻撃があり、特殊な不正アクセスによりデータベースから会員登録情報の一部を取り出すことができる状態であったことを確認したという。漏えいした会員情報は 171,518 件で、「メールアドレス（PC メールアドレス欄のもの）」「ログインパスワード」「生年月日（未入力の方は空欄）」が含まれていた。なお、現時点では二次被害は確認されていないとしている。

・関連 URL
http://blog.babycome.ne.jp/blog/x6131psb/12431 09/

企業名索引

本資料はダイジェスト版です

詳しい内容は下記 URL をご参照ください

http://ns-research.jp/

日本情報漏えい年鑑 2013

発　　刊　2013 年 4 月（第一版）

発　　行　株式会社イード

ScanNetSecurity 発行人　高橋潤哉

調査・編集　株式会社イード

ScanNetSecurity 編集部

〒164-0011　東京都中野区中央一丁目 38 番 1 号

Tel. 03-6304-0217　　URL　https://scan.netsecurity.ne.jp/

Fax. 03-5332-5760　　MAIL　info@netsecurity.ne.jp